

## 医療研修推進財団の活動<sup>\*1</sup>

畑尾 正彦<sup>\*2</sup>

### はじめに

1995年10月に設立された医療研修推進財団は、医療に関する各種分野を横断的かつ総合的に捉え、高度な情報技術を活用することを通じて、医療の質の向上に寄与することを目的に、「医療従事者に対する研修に関する研究開発」「医療従事者に対する研修の実施」「関係団体が実施する医療従事者に対する研修への支援」「医療従事者に対する研修に関する国内外の情報の収集および提供等」「医師臨床研修希望者と研修プログラムとの組合せ決定（マッチング）の実施に関する事務」「言語聴覚士国家試験の実施に関する事務」「言語聴覚士の登録の実施に関する事務」等の事業を行っており、本白書1998年版および2002年版以降の活動の概要について報告する。

### 1. 医療職を参加対象とする講習会等 (2005年度の開催は表3)

#### 1) 臨床研修指導医養成講習会

臨床研修指導医が、社会のニーズに応じて臨床研修の質を高めるために、望ましい研修カリキュラムを立案・推進する能力および基本的臨床能力を備えた研修医を育成する能力を修得することを目的に、厚生労働省からの補助金交付先である臨床研修協議会から委託を受けて、1995年度に始められた本財団最初の事業であるが、2003年度をもって終了した。終了した理由は、新医師臨床研修制度が2004年4月にスタートするのを機に、財団の事業としては、新制度のキーマンであるプログラム責任者養成講習会の開催を受託

することになったからである。2002～2003年度の実績は表1の通りである。

1995～2003年度に通算32回の指導医講習会が開催されたが、すべてワークショップスタイルで行われ、参加者総数は1,806名であった。ちなみに2004年度から、臨床研修指導医講習会は各病院団体の主催や各大学病院・臨床研修病院を中心に、厚生労働省の示した開催指針に則って行われている。

#### 2) プログラム責任者養成講習会

社会のニーズに応え、質の高い効率的な医療提供体制を実現する上で重要な柱の1つが医療を担う適切な人材の育成であるとして、研修理念を踏まえて2004年からスタートした新医師臨床研修制度では、新たに位置づけられたプログラム責任者の役割は極めて重要である。

医師臨床研修のプログラム責任者が、円滑かつ効果的な臨床研修を推進し、研修医の臨床研修目標達成を支援するために、助言・指導とその他の援助並びに指導医に対する支援を適切に行うとともに、研修プログラムの実施を管理・調整・評価する能力の向上を図ることを目的とした講習会で、ワークショップスタイルと解説を主とするセッションとのハイブリットで行われた。2004年度および2005年度の実績は表2の通りである。

#### 3) 専門指導医養成講習会

臨床研修指定病院および公私立医科大学付属病院で臨床研修の指導にあたる医師を対象とし、専門領域ごとの薬物療法を中心に、より高度、複雑化する医療等に対応できる臨床指導医を養成、確保することを目的として1997年度から開催されたもので、2003年度で終了した。7年間に「感染症疾患」「循環器疾患」「メディカルオンコロジー」「精神・神経疾患」「小児疾患」が4日間の集中研修として実施された。

<sup>\*1</sup> Activity of Foundation for Promotion of Medical Training

キーワード：卒後臨床研修必修化、プログラム責任者養成講習会、医師臨床研修マッチング

<sup>\*2</sup> Masahiko HATAO 日本赤十字武蔵野短期大学

表1 臨床研修指導医講習会開催状況(2002～2003年度)

開催期日	会場	参加者数
2002年 9月16日～9月20日	スペースアルファ神戸(兵庫県)	54名
2002年 12月10日～12月14日	ホテルメゾン軽井沢(長野県)	49名
2003年 1月20日～1月24日	ホテルメゾン軽井沢(長野県)	50名
2003年 2月11日～2月15日	共栄火災富士研修センター(静岡県)	53名
2003年 9月15日～9月17日	スペースアルファ神戸(兵庫県)	51名
2003年 9月18日～9月20日	スペースアルファ神戸(兵庫県)	52名
2003年 11月17日～11月19日	ホテルメゾン軽井沢(長野県)	49名
2003年 11月20日～11月22日	ホテルメゾン軽井沢(長野県)	48名
2003年 12月15日～12月17日	ホテルメゾン軽井沢(長野県)	50名
2003年 12月18日～12月20日	ホテルメゾン軽井沢(長野県)	49名
2004年 2月16日～2月18日	共栄火災富士研修センター(静岡県)	55名
2004年 2月19日～2月21日	共栄火災富士研修センター(静岡県)	52名

表2 プログラム責任者養成講習会(2004～2005年度)

開催期日	会場	参加者数
2004年 9月13日～9月14日	スペースアルファ神戸(兵庫県)	50名
2004年 9月15日～9月16日	スペースアルファ神戸(兵庫県)	51名
2004年 9月17日～9月18日	スペースアルファ神戸(兵庫県)	52名
2004年 11月29日～11月30日	船橋セミナーハウスクロスウェーブ(千葉県)	50名
2004年 12月 1日～12月 2日	船橋セミナーハウスクロスウェーブ(千葉県)	51名
2004年 12月 3日～12月 4日	船橋セミナーハウスクロスウェーブ(千葉県)	52名
2005年 9月13日～9月14日	ホテルメゾン軽井沢(長野県)	47名
2005年 9月15日～9月16日	ホテルメゾン軽井沢(長野県)	46名
2005年 9月17日～9月18日	ホテルメゾン軽井沢(長野県)	48名
2005年 11月21日～11月22日	スペースアルファ神戸(兵庫県)	52名
2005年 11月23日～11月24日	スペースアルファ神戸(兵庫県)	49名
2005年 11月25日～11月26日	スペースアルファ神戸(兵庫県)	51名

#### 4) 診療情報提供環境整備に関する講習会

臨床研修指定病院および公私立大学付属病院等で臨床研修の指導に当たる医師ならびに診療情報管理等に従事している医療事務関係者を対象として、診療情報の提供や電子化に伴う診療情報の活用に対応して、診療録の記載等に関する臨床研修等を充実し、医療機関の質的な向上を図ることを目的とするもので、全国の8会場で行われる衛星遠隔講演を軸に、臨床研修指導医と医療事務職とが合同で討論するワークショップスタイルの研修が2000年度から行われたが、2002年度をもって終了した。3年間に医師432名、事務529名、合計961名の参加があった。

#### 5) 医療関係職種実習施設指導者等養成講習会

医療職の養成教育に従事している者に対して、最新の知識と技術を修得して実習指導者としての資質を高め、実習を効果的に実施することにより、それぞれの医療職の資質の向上を図ることを目的とするもので、臨床検査技師、診療放射線技師、視能訓練士、歯科技工士などについて開催されている。

#### 6) 理学療法士作業療法士養成施設等教員長期講習会

理学療法士・作業療法士養成施設(大学、専門学校)の教員および実習施設の指導者の養成確保を図るため、教員または指導者として現在勤務している者および今後勤務することを希望する者に

表3 財団が主催・受託・共催・協力する講習会・研修会等（2005年度）

講習会・研修会名	参加対象	期間	備考
主催する事業			
診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会	診療放射線技師	3日間	
臨床検査技師実習施設指導者等養成講習会	臨床検査技師	3日間	
視能訓練士実習施設指導者等養成講習会	視能訓練士	3日間	
歯科技工士実習施設指導者等養成講習会	歯科技工士	2日間	
理学療法士作業療法士養成施設等教員講習会	理学療法士・作業療法士	22日間	
受託・共催・協力する事業			
プログラム責任者養成講習会	医師	2日間	
地区治験推進協議会	医師, CRC, 事務職員等	1日間	
日本訪問看護振興財団実務講座	看護師	2日間	*

\* 衛星遠隔研修

対して、より高度な知識と技能を修得し、併せてリハビリテーション医療の普及向上に資することを目的とするもので、従来から厚生労働省が主催していた講習会を財団が引き継いだ。毎年1回、東京および大阪の2会場で、それぞれ3週間あまりにわたって開催されており、2005年度は第32回という歴史的な長期講習会である。

#### 7) 治験推進協議会

新GCPの普及啓発および治験の適正な実施の促進を図るために、治験に関する新しい情報の交換等を行うことにより、治験の適正な実施を推進することを目的とし、1999年3月に全国の治験を実施している医療機関の長が参加する地区治験推進協議会が全国7地区に設置され、毎年1回地区毎に開催されている。参加登録した医療機関は578箇所、医療研修推進財団が事務局となっている。

#### 8) 新GCPのもとでの治験推進研修会

治験推進対策の1つとして、治験に携わる医師や事務職員等を対象に、治験に対する一層の科学性、倫理性および迅速性の向上を図り、質、量ともに充実した治験を図ることを目的に、2001～2003年に7回実施し延べ5,117名の参加があった。

#### 9) 言語聴覚士指定講習会

言語聴覚士法附則第3条の規定に基づく受験資格を得るための講習会であったが、2002年度をもって終了した。修了者は5年間で4,609名で

あった。

## 2. 医療研修情報提供システム

従来の医療情報電子検索システムに、臨床研修の必修化に向けた準備体制の整備の一環として、主に研修医を対象とするコンテンツ（表4）を加えた医療研修情報提供システムを構築し、2000年7月から当財団のホームページ（<http://www.pmet.or.jp>）に掲載した。表4に記載された月額料金によって会員が利用できる。

## 3. 臨床研修病院ガイドブック

臨床研修病院ガイドブックは、臨床研修医のために全国の臨床研修病院および研修内容、臨床研修に関する資料などを掲載し、1983年に臨床研修研究会（現臨床研修協議会）から第1回が発行された。医療研修推進財団が設立されてからはガイドブック作成が財団に委託され、以降、内容を修正しつつ毎年発行してきた。2001年度からは、書籍から電子化に全面移行し、CD-ROM版と財団のホームページを通じてインターネットにより情報を提供している。

## 4. 医師臨床研修マッチング

2004年度からの新医師臨床研修制度により、臨床研修指定病院における2年間の研修が必修化された。これと相まって、研修医は研修病院を自分で選ぶ仕組みが必要とされ、2003年度に医

表4 医療研修情報提供システムのコンテンツ

コ ン テ ン ツ	研修医診療マニュアル
	小児・新生児救急マニュアル (2005年度より)
	訴訟事例に学ぶ治療上の責任
	医の倫理・社会保障・感染症マニュアル
	死亡診断書記入マニュアル
	基本手技マニュアル
	基本的身体診察法ビデオ
	書類の書き方と臨床医に必要な法律知識
	臨床研修到達度チェックシート
	画像診断厳選 150 例
医療関連文献検索	
人体 CG 画像集	
利 用 料 金	個人会員 (研修医) 月額 1,000 円
	個人会員 月額 2,000 円
	病院・法人会員 月額 3,000 円 年額 30,000 円, 20 個までの ID 発行
	病院・法人会員 月額 5,000 円 年額 50,000 円, 40 個までの ID 発行

療研修推進財団がマッチングシステムを構築した。日本医師会、全国医学部長病院長会議、臨床研修協議会、医療研修推進財団の4団体からなる医師臨床研修マッチング協議会が設置され、そ

表5 医師臨床研修マッチング結果

区分等	2005年	2004年	2003年
希望順位登録者数	8,472	8,394	8,109
研修プログラム数	1,261	1,158	1,076
参加病院数	1,016	956	851
募集定員	11,228	11,122	10,870
マッチ者数	8,100	8,000	7,756
マッチ率 (%)	95.6	95.3	95.6
第1希望マッチ者数 (%)	5,872 (72.5)	5,843 (73.0)	6,014 (77.5)
第2希望マッチ者数 (%)	1,275 (15.7)	1,200 (15.0)	975 (12.6)

\* 第1希望マッチ者数欄および第2希望マッチ者数欄の( )は、全マッチ数に対する比率である。

の事務局が医療研修推進財団に置かれ、2003年からマッチング事業を実施している(表5)。

## 5. 言語聴覚士国家試験・登録業務

言語聴覚士法第12条および第36条の規定に基づき、指定試験機関および指定登録機関として1998年9月に厚生大臣の指定を受けて、言語聴覚士の国家試験事務および登録事務が医療研修団で行われている。

## 文 献

- 1) 医療研修推進財団. 財団のあゆみ 設立10周年. PMET 10.